



滝川市議会議長
関藤 龍也

「不撓不屈」の精神で

実り多い一年に



新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては令和4年の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より滝川市議会ならびに市政に対して格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、東京オリンピック・パラリンピック2020が開催され、北海道ではマラソンと競歩が行われました。コロナ禍で気分が沈みがちな中で日本人選手の活躍は、私たちに勇気と希望を与えてくれました。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大により、北海道は二度にわたり緊急事態宣言が発令されました。対策の切り札として、世界的にワクチンの開発が進められ、日本でも国を挙げて接種が進められました。そのかいあって、年末に向けては、滝川市内でも新規感染者数を抑え込むことに成功しましたが、新たな変異株「オミクロン株」が世界的な広がりを見せ始めました。私たちは引き続き、手指の消毒など身近にできる感染対策を続けていきます。

さて、市政の動きに目を向けると、昨年10月30日に、江部乙中学校の閉校式が挙行されました。本年3月31日をもって閉校し、4月からは江陵中学校と統合となります。江部乙地区の生徒の皆さんにとっては新たな学び舎で、新たな友達との出会いになります。

も早く環境に慣れて、勉強やスポーツに切磋琢磨して励んでいただきたいと思えます。

また、文化センターの件について、利用者の皆様には代替施設としてホテルスエヒロを利用していただく予定となっております。当分の間ご辛抱いただき、市民の皆様にとって活動しやすい環境をできるだけ早期に整えたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

市議会では、市民の皆様との対話を通じて、いただいたご意見を市政に反映させることを目的とした意見交換会を実施しています。この2年間は新型コロナウイルスの感染リスクを回避するため休止していましたが、感染状況を見ながら再開したいと考えています。

一方、昨年の市議会において悲しい出来事もありました。同志である渡邊龍之議員が69歳の若さで急逝されました。私たち残された議員15名は、渡邊議員の志を受け継ぎ、滝川市の発展と次の世代が安全・安心に暮らすことができるよう精進し、その職責を果たしていく所存です。

結びになりますが、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願い、「不撓不屈」の精神によりこの困難を乗り越え、新しい年が市民の皆様にとって、幸せで実り多い年となりますことを、議員一同心よりご祈念申し上げます。



滝川市長
前田 康吉

「快刀、乱麻を断つ」一年に

今年の一字

快



今年の一字「快」を
揮ひつされたのは

滝川市出身・俳優 荒木 知佳 さん
滝川市出身で現在は俳優として活躍されている荒木知佳さん。荒木さんについては、P21で詳しくご紹介します！

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げますと共に、市政に対しての深いご理解とご協力に感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本中が新型コロナウイルスと戦い続けた一年であり、特に医療関係者の皆様のご努力には心から感謝と敬意を申し上げます。本市も、4月からは医師会の皆様をはじめ、各関係者のご協力のもとワクチン接種を開始させていただきましたが、当初の不手際で、なかなか予約ができない状況が発生してしまい、市民の皆様にご迷惑をおかけしたことに改めてお詫び申し上げます。その後、多くの方々に協力をいただいたおかげで、接種率も9割に迫るほど順調に進んでおり、その効果もあつてか感染者数は激減しました。しかし、度重なる緊急事態宣言等の発出により、経済的影響が飲食店をはじめとした幅広い業種で残っており、これまで数々の支援策を行って参りましたが、今後も国から交付される地方創生臨時交付金等を活用し、市民生活の早期回復を目指して参ります。

また、コロナ禍の中、残念なことがありました。一つはスマイルビルの閉鎖であります。駅前に大きな空きビルが出現し、閉鎖後のビル周辺の安全確保と今後の活用についてなど、解決すべき大きな課題が残っている状況です。もう一つは文化センターの件です。大ホールの安

全性の問題から利用休止にせざるを得ない状況となり、突然のことで文化関係者、市民の皆様には大変なご迷惑をおかけいたしました。先に行われた12月の議会において、新ホールの建設を表明させていただいたところですが、今後は「文化センターのあり方検討市民会議」での答申や市民の皆様のご意見を取り入れながら早急に進めて参りますので、当面の間、代替施設を利用いただきまますようご理解、ご協力をお願いいたします。

今年は私が市長を務めさせていただいて12年目となり、3期目の最終年度であります。昨年は高等看護学院の建設や合同墓の設置、テニスコートの改修、タイムラインの本格運用などを進めて参りましたが、市の課題はまだまだ多いことから、市民の皆様にお約束したことに道筋を付けるべく、努力して参ります。特に子育て世代への施策については、その充実に力を注ぐ考えです。

私は、今年の一字を「快」とさせていただきます。新型コロナウイルスの感染状況が、3回目のワクチン接種や治療薬によって快方に向かい、快い日常が取り戻せることを願っております。また、前述した数々の課題を「快刀、乱麻を断つ」が如く、解決に向かう一年にできればと考えております。ぜひともその願いが叶い、「ちよろどい田舎」滝川市のまちづくりを市民の皆様と一緒に進める一年となりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。